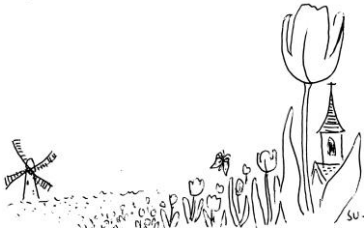


週報



NO.24-50 2025年3月23日

<テーマ> 違いの中にキリストを告白する群れ

～響き合う礼拝とひろば～

<年間テーマ> 主に望みをおき、出会い結び合わされて

<聖句>

イザヤ書 40:28～31

～主に望みをおく人は新たな力を得、鷲のように翼を張って上る。
走っても弱ることなく、歩いても疲れない。

エフェソの信徒への手紙 4:16

キリストにより、体全体は、あらゆる節々が補い合うことによってしっかり
組み合わせられ、結び合わされて、おのおの部分は分に応じて働いて体を成
長させ、自ら愛によって造り上げられてゆくのです。

「神のもとへのつながり直し」

三寒四温、早春を迎えています。先週 18 日は第 70 回となった光の丘幼稚園の卒園式があり、
17 名の園児が卒園を迎えました。園児一人ひとりの言葉、12 カ月の暗唱聖句や歌声に励ましを
受け、この園の営みを主に感謝いたしました。

今日のマタイ 23 章に先立つ 2 章では、主イエスと、政治的、経済的、宗教的に力ある立場にあ
る様々な人々とのやり取りが続きました。今日の箇所は群衆と弟子たちに向けて語られています。課
題はあれど民主的な時代に生きる私たちには想像さえできないほど、民衆の人々は小さくされてい
たでしょう。そこで出来上がってしまった「秩序」や「常識」が人を苦しめている時、誰がそれに抗し、
指摘し、覆してくれるのでしょうか。主イエスは神の思いの実現に向かう神の国の在り様で、それら
の人々の姿を指摘しました。そして、神のみが力ある方であり人間は互いにきょうだいであり、学び
合い生きる関係にあると伝えました。それは、時に人間を必要以上に崇める群衆の向き方をも明る
みに出すものだったと想像します。主イエスは一人ひとりを神につなげ直して下さり、だからこそ神か
ら頂いている価値を認め合い、神のもとで生き合う人間の間柄へと導かれます。この在り方を阻む
私たちの中にあるものや行為に気づき方向転換したいと思います。それらが主イエスを十字架に追い
やった具体の一部だと思うからです。主イエスが示された間柄を互いに造り続けていきましょう。

【井形英絵】

日本バプテスト連盟

神戸バプテスト教会

牧師 井形 英絵

主日礼拝

毎日曜日 午前 10:30～11:45

共育のひろば

第 1・2 日曜日 午前 11:45～12:40 (成人クラス A・B・C)

第 2・3・4 日曜日 午前 11:45～12:40 (小学生クラス)

幼稚園 C・S

日曜日 午前 9:00～10:20 (4月 13・20・27日)

ひまわりひろば

日曜日 午前 9:00～10:20 (4月 13・20・27日)

祈 禱 会

毎水曜日 午後 19:00～20:15

教会についてのお問い合わせ、バプテスマの希望や他教会からの転入、またご相談のある方は
牧師、又は教会事務局までご連絡ください。

〒650-0003 神戸市中央区山本通 1-7-27 TEL078-231-7187 FAX078-221-5252

ホームページ: kobe-church.com

事務局Eメール: jimukyoku@kobe-church.com



司会：川端敏之 奏楽：西恵美

ぜん 前		そう 奏		そう 奏	がく 楽	しゃ 者	
かい 開	かい 会	しょう 唱		せい 聖	か 歌	たい 隊	
さん 讃	び 美	か 歌	しんせい 新生	いち 一		どう 同	
* かん 歓	げい 迎	いの 祈	ちち かみ な 「父の神よ 汝がまこと」	し 司	かい 会	しゃ 者	
こう 交		どく 読	しょう しょう イザヤ書53章1~8, 12	くなん しもべ 「苦難の僕」	めんさんしやういち 3面参照	どう 同	
こ 子	ども も	メ ッ	ふくいんしょう マタイによる福音書23章	しょう 11	せつ 12節	な が せ 永 瀬	む つ お 睦 臣
さん 讃	び 美	か 歌	しんせい 新生	いち 一		どう 同	
* せい 聖		しょ 書	しゅ 「主はそのいのち」	し 司	かい 会	しゃ 者	
			ふくいんしょう マタイによる福音書23章	11	12節		

[illegible]

○オンライン礼拝のためビデオ撮影を行っています。(10:27~終了まで)○第1週は託児があります。○小さいお子様をお連れの方は礼拝堂2階でお子さまと一緒に礼拝をお守りいただくこともできます。

祈りの課題

- 1、神戸バプテスト教会 2024 年度福音宣教と諸計画諸活動のために。第2回定期総会(3月23日)のために。
- 2、光の丘幼稚園園児・保護者・教職員ために。2024年度の保育に感謝して。2025年度の準備のために。
- 3、井形英絵牧師の働きと健康が守られますように。
- 4、能登半島豪雨・地震、宮崎地震、山形大雨災害、世界各地で被災された方々、支援にあたっておられる方々のために
- 5、イスラエル、パレスチナ、スーダン、ミャンマー、アフガニスタン、ウクライナとロシアなど紛争と戦争の只中にいる方々の命が守られますように。すべての人々のいのちが尊重される自由と平和が実現しますように
- 6、台湾地震、モロッコ、リビアの災害、トルコ・シリア大地震で被災された方々の命と日々の生活が守られますように。
- 7、子どもたちの心と体の成長が守られますように。
- 8、病の中にある方、療養中の方、その方々を支えておられるご家族のために。
- 9、困難の中にいる方々と共に生きるすべてのキリスト教会と信徒の信仰生活の守りのために。
- 10、新会堂建築計画の導き。会堂建築委員会の働きのために。
- 11、これからの神戸教会のために。教会員が共に語り合い、主の御心を求めることができますように。

【連盟・連合・他教会の祈り】

- ◆日本バプテスト連盟の全国 314 の教会・伝道所のために。特に連盟の機構改革と新しい体制での働きのために。東日本大震災支援委員会、東北連合被災地支援委員会の働きのために。
- ◆関西地方教会連合の36教会のために。2025年度の働きと計画のために。(連合総会4月29日)

交読 35 イザヤ書 53 章 1-8、12 節「苦難の僕」

わたしたちの聞いたことを、誰が信じえようか。

主は御腕の力を誰に示されたことがあるうか。

乾いた地に埋もれた根から生え出た若枝のように、

この人は主の前に育つた。見るべき面影はなく、

輝かしい風格も、好ましい容姿もない。

彼は軽蔑され、人々に見捨てられ、

多くの痛みを負い、病を知っている。

彼はわたしたちに顔を隠し、

わたしたちは彼を軽蔑し、無視していた。

彼が担ったのはわたしたちの病、彼が負ったのはわたしたちの痛みだったのに、

わたしたちは思っていた、神の手にかかり、打たれたから、彼は苦しんでいるのだ、と。

彼が刺し貫かれたのは、わたしたちの背きのためであり、

彼が打ち砕かれたのは、わたしたちの咎のためであった。

彼の受けた懲らしめによって、わたしたちに平和が与えられ、

彼の受けた傷によって、わたしたちはいやされた。

わたしたちは羊の群れ、道を誤り、それぞれの方角に向かって行った。

そのわたしたちの罪をすべて、主は彼に負わせられた。

苦役を課せられて、かがみ込み、彼は口を開けなかった。

屠り場に引かれる小羊のように、毛を切る者の前に物を言わない羊のように、

彼は口を開けなかった。

捕らえられ、裁きを受けて、彼は命を取られた。

彼の時代の誰が思い巡らしたであろうか、

わたしの民の背きのゆえに、彼が神の手にかかり、命ある者の地から断たれたことを。

彼が自らをなげきうち、死んで、罪人のひとりに数えられたからだ。

(二) 多くの人の過ちを担い、背いた者のために執り成しをしたのは、この人であった。